- 6 この了解の適用に当たっては、紛争解決了解によって詳細に定められて適用される千九百九十四年の ガットの第二十二条及び第二十三条の規定が適用される。
- 7 千九百九十四年のガットに譲許表を附属させる文書を、世界貿易機関協定の効力発生の日までは千九百 日に実施されている水準よりも低い水準で記録される「その他の租税又は課徴金」は、当該実施されてい は、この限りでない。 る水準に回復されないものとする。ただし、追加又は変更がその寄託の日から六箇月以内に行われる場合 記録されない「その他の租税又は課徴金」は、その後当該譲許表に追加されないものとし、また、適用の 四十七年のガットの締約国団の事務局長に、その後は世界貿易機関事務局長に寄託する時に当該譲許表に
- 8 用の日に関する2の規定は、千九百八十年三月二十六日に行われた適用の日に関する決定(ガット基本文 書選集(BISD)追録第二十七巻二十四ページ)に代わる。 干九百九十四年のガット第二条1回の規定の適用上、それぞれの「その他の租税又は課徴金」に係る適

- For the purposes of this Understanding, the provisions of Articles XXII and XXIII of GATT 1994
 as elaborated and applied by the Dispute Settlement Understanding shall apply.
- 7. "Other duties or charges" omitted from a Schedule at the time of deposit of the instrument incorporating the Schedule in question into GATT 1994 with, until the date of entry into force of the WTO Agreement, the Director-General to the CONTRACTING PARTIES to GATT 1947 or, thereafter, charge" recorded at a level lower than that prevailing on the applicable date shall not be restored to with the Director-General of the WTO, shall not subsequently be added to it and any "other duty or instrument. that level unless such additions or changes are made within six months of the date of deposit of the
- The decision in paragraph 2 regarding the date applicable to each concession for the purposes
 of paragraph 1(b) of Article II of GATT 1994 supersedes the decision regarding the applicable date
 taken on 26 March 1980 (BISD 278/24).

千九百九十四年の関税及び貿易に関する一般協定第十七条の解釈に関する了解

加盟国は、

別待遇の一般原則に適合させることを定めていることに留意し、民間貿易業者による輸入又は輸出に影響を及ぼす政府の措置に関して千九百九十四年のガットが定める無差、第十七条が、同条1に規定する国家貿易企業の活動に関する加盟国の義務として、国家貿易企業の活動を、

に留意し、更に、国家貿易企業に影響を及ぼす政府の措置に関する千九百九十四年のガットに基づく義務に従うこと更に、国家貿易企業に影響を及ぼす政府の措置に関する千九百九十四年のガットに基づく義務に従うこと

- ここに、次のとおり協定する。この了解が同条に規定する実質的な規律の適用を妨げないことを認めて、
- 「政府又は非政府の企業(販売に従事する機関を含む。)であって、購入及び販売を通じ輸入又は輸出する。その通報は、政府又は次に定める企業が直接又は最終的に消費するための産品であって、再販売すする。その通報は、政府又は次に定める企業が直接又は最終的に消費するための産品であって、再販売すする。その通報は、政府又は次に定める企業が直接又は最終的に消費するための産品であって、再販売すする。その通報は、政府又は次に定める企業が直接又は最終的に消費するための産品であって、再販売するため、5の規定に基づいて設置される作業部会が行1 加盟国は、国家貿易企業の活動の透明性を確保するため、5の規定に基づいて設置される作業部会が行

付与されたもの」の水準又は仕向け先に影響を及ぼす排他的又は特別な権利又は特権(法令又は憲法上の権限を含む。)をの水準又は仕向け先に影響を及ぼす排他的又は特別な権利又は特権(法令又は憲法上の権限を含む。)

- 多 通報する。 3 通報については、千九百六十年五月二十四日に採択された加行われなかったかを問わず、当該企業 集(BISD)追録第九巻百八十四ページ及び百八十五ページ)に従って行う。この場合において、加盟 集(BISD)追録第九巻百八十四ページ及び百八十五ページ)に従って行う。この場合において、加盟
- 他の加盟国にその問題を提起することができる。問題の満足すべき解決が得られない場合には、当該問題4 他の加盟国が通報義務を十分に履行していないと信ずるに足りる理由がある場合には、加盟国は、当該

UNDERSTANDING ON THE INTERPRETATION OF ARTICLE XVII OF THE GENERAL AGREEMENT ON TARIFFS AND TRADE 1994

Members

Noting that Article XVII provides for obligations on Members in respect of the activities of the state trading enterprises referred to in paragraph 1 of Article XVII, which are required to be consistent with the general principles of non-discriminatory treatment prescribed in GATT 1994 for governmental measures affecting imports or exports by private traders;

Noting further that Members are subject to their GATT 1994 obligations in respect of those governmental measures affecting state trading enterprises;

Recognizing that this Understanding is without prejudice to the substantive disciplines prescribed in Article XVII;

Hereby agree as follows

In order to ensure the transparency of the activities of state trading enterprises, Members shall notify such enterprises to the Council for Trade in Goods, for review by the working party to be set up under paragraph 5, in accordance with the following working definition:

"Governmental and non-governmental enterprises, including marketing boards, which have been granted exclusive or special rights or privileges, including statutory or constitutional powers, in the exercise of which they influence through their purchases or sales the level or direction of imports or exports."

This notification requirement does not apply to imports of products for immediate or ultimate consumption in governmental use or in use by an enterprise as specified above and not otherwise for resale or use in the production of goods for sale.

- 2. Each Member shall conduct a review of its policy with regard to the submission of notifications on state trading enterprises to the Council for Trade in Goods, taking account of the provisions of this Understanding. In carrying out such a review, each Member should have regard to the need to ensure the maximum transparency possible in its notifications so as to permit a clear appreciation of the manner of operation of the enterprises notified and the effect of their operations on international trade.
- Notifications shall be made in accordance with the questionnaire on state trading adopted on 24 May 1960 (BISD 9S/184-185), it being understood that Members shall notify the enterprises referred to in paragraph 1 whether or not imports or exports have in fact taken place.
- 4. Any Member which has reason to believe that another Member has not adequately met its notification obligation may raise the matter with the Member concerned. If the matter is not satisfactorily resolved it may make a counter-notification to the Council for Trade in Goods, for consideration by

5

を提起した加盟国は、5の規定に基づいて設置される作業部会における検討のため、物品の貿易に関する。企業の範囲の妥当性を検討することができるものとし、同時に、その旨を当該他の加盟国に通報する。とができる。ただし、この勧告は、第十七条4(c)の規定の適用を妨げるものではない。作業部会は、変元とができる。ただし、この勧告は、第十七条4(c)の規定の適用を妨げるものではない。作業部会と改変した通報を検討することを目的として、作業部会は、受領した通報を検討する。作業部会の検討を踏まえ、通報の妥当性及び追加の情報の必要性に関して勧告を行うことができる。ただし、この勧告は、第十七条4(c)の規定の適用を妨げるものではない。作業部会は、受領した通報を踏まえ、3に規定する国家貿易に関する質問表及び1の規定に従って通報される国家貿易受領した通報を踏まえ、3に規定する国家貿易に関する質問表及び1の規定に従って通報される国家貿易会業の範囲の妥当性を検討する。作業部会のため、国家貿易企業の類型について、第十七条の目的に資する例示表を作成する。事務局は、作業部会のため、国家貿易企業の金製に関する連挙を決った。企業部会の活動に通報する。作業部会は、世界貿易機関協定の効力発生の日から一年以内に、及びその後は少なくとも年一回会合する。作業部会は、世界貿易機関協定の効力発生の日から一年以内に、及びその後は少なくとも年一回会合する。作業部会は、毎年物品の貿易に関する関係決定の皿に定める作業部会の活動との作業部会の活動に対する。作業部会の活動との作業部会の活動との作業部会の活動との作業部会の活動との作業部会の活動との作業部会の活動との作業部会の活動との作業部会の活動との作業部会の活動との発言を持つませば、1000円の表に関する関係でのでは、1000円の表に関する関係では、1000円の表に関する関係では、1000円の表に関する関係では、1000円の表に関する関係では、1000円の表に関する関係では、1000円の表に関する関係では、1000円の表に関するでは、1000円の表に関するでは、1000円の表に関係するに関係では、1000円の表に関係するに関係では、1000円の表に関係する。1000円の表に関係するに関係する。1000円の表に関係するに関係する。1000円の表に関係するに関係するが表に関係するに関係する。1000円の表に関係するに関係するに関係するに関係するに関係するに関係するに関係では、1000円の表に関係するに関係するに関係するに関係するに関係では、1000円の用を妨げるに関係するに関係するに関係では、1000円の用を妨げるに関係を表に関係では、1000円の用を妨げる、1000円の用を妨げるものでは、1000円の用を妨げる。1000円の用を妨げる。1000円の用を妨げるものでは、1000円の用を妨げる。1000円を妨げる。1000円の用を妨げる1000円を対ける関係を1000円の用を対するでは、1000円の用を対するでは、1000円の用を対するでは、1000円の用を対するでは、1000円の用を対するでは、1000円の用を対するでは、1000円の用を対するに関係では、1000円の用を対するでは、1000円の用を対するに関係する関係を1000円の用を対する関係を1000円の用を対する。1000円の用を対するに関係では、1000円の用を対する。1000円の用を対する。1000円の用を対する。1000円の用を対する。1000円の用を対する。1000円の用を対する。1000円の用を対する。1000円の用を対する。1000円の用を対するでは、1000円の用を対するでは、1000円の用を

the working party set up under paragraph 5, simultaneously informing the Member concerned.

5. A working party shall be set up, on behalf of the Council for Trade in Goods, to review notifications and counter-notifications. In the light of this review and without prejudice to paragraph 4(c) of Article XVII, the Council for Trade in Goods may make recommendations with regard to the adequacy of notifications and the need for further information. The working party shall also review, in the light of the notifications received, the adequacy of the above-mentioned questionnaire on state trading and the coverage of state trading enterprises notified under paragraph 1. It shall also develop an illustrative list showing the kinds of relationships between governments and enterprises, and the kinds of activities, engaged in by these enterprises, which may be relevant for the purposes of Article XVII. It is understood that the Secretariat will provide a general background paper for the working party on the operations of state trading enterprises as they relate to international rade. Membership of the working party shall be open to all Members indicating their wish to serve on it. It shall meet within a year of the date of entry into force of the WTO Agreement and thereafter at least once a year. It shall report annually to the Council for Trade in Goods.

The activities of this working party shall be coordinated with those of the working group provided for in Section III of the Ministerial Decision on Notification Procedures adopted on 15 April 1994.

千九百九十四年の関税及び貿易に関する一般協定の国際収支に係る規定に関する了解

力型巨い

識し、これらの規定を明確にするために、(注)不允百七十九年の宣言」という。)の規定を認次巻二百五ページから二百九ページまで。この了解において「千九百七十九年の宣言」という。)の規定を認次巻二百五ページから二百九ページまで。この了解において「千九百七十九年の豊富」という。)の規定を認然し、これらの規定を明確にするために、(注)

ここに、次のとおり協定する

注。この了解の規定は、「九百九十四年のガットの第十二条及び第十八条Bの規定は基づく加盟国の権利及び義務を変更することを意図するものではない。紛争解決了解によって詳細に定められて適用される千九百九十四年のガットの第二十二条及び第二十三条の規定は基づく加盟国の権利及び義務を変更すすることができる。

措置の適用

- 手続に従い、価格を基礎とする措置が譲許税率を超える額を個々に明示する。 「この了解において「価格を基礎とする措置」という。)は、輸入課徴金、輸入供託金その他輸入される物にの一個格に影響を及ぼすこれらと同様の貿易上の措置をいうものと了解する。加盟国は、第二条の規定にかかわらず、自国の譲許表に記載されている水準を超えて、国際収支上の目的のためにとられる価格を基かかわらず、自国の譲許表に記載されている水準を超えて、国際収支上の目的のためにとられる価格を基かかわらず、自国の譲許表に記載されている水準を超える額を個々に明示する。このような措置と 加盟国は、貿易の流れを乱す影響が最も少ない措置を優先してとる約束を確認する。このような措置
- に対処するために妥当な手段ではない理由を正当とする根拠を示す。数量制限を維持している加盟国は、とを避けるよう努める。加盟国は、数量制限を課する場合には、価格を基礎とする措置が国際収支の状況とを避けるよう努める。加盟国は、数量制限を課するよの目的のための新たな数量制限を課するこの悪化を阻止することができない場合を除くほか、国際収支上の目的のための新たな数量制限を課するこの、加盟国は、危機的な国際収支の状況が存在するため価格を基礎とする措置により対外支払の状況の急速3 加盟国は、危機的な国際収支の状況が存在するため価格を基礎とする措置により対外支払の状況の急速3

UNDERSTANDING ON THE BALANCE-OF-PAYMENTS PROVISIONS OF THE GENERAL AGREEMENT ON TARIFFS AND TRADE 1994

Membe

Recognizing the provisions of Articles XII and XVIII:B of GATT 1994 and of the Declaration on Trade Measures Taken for Balance-of-Payments Purposes adopted on 28 November 1979 (BISD 26S/205-209, referred to in this Understanding as the "1979 Declaration") and in order to clarify such provisions¹;

Hereby agree as follows:

Nothing in this Understanding is intended to modify the rights and obligations of Members under Articles XII or XVIII:B of GATT 1994. The provisions of Articles XXII and XXIII of GATT 1994 as claborated and applied by the Dispute Settlement Understanding may be invoked with respect to any matters arising from the application of restrictive import measures taken for balance-of-payments purposes.

Application of Measures

- i. Members confirm their commitment to announce publicly, as soon as possible, time-schedules for the removal of restrictive import measures taken for balance-of-payments purposes. It is understood that such time-schedules may be modified as appropriate to take into account changes in the balance-of-payments situation. Whenever a time-schedule is not publicly announced by a Member, that Member shall provide justification as to the reasons therefor.
- 2. Members confirm their commitment to give preference to those measures which have the least disruptive effect on trade. Such measures (referred to in this Understanding as "price-based measures") shall be understood to include import surcharges, import deposit requirements or other equivalent trade measures with an impact on the price of imported goods. It is understood that, notwithstanding the provisions of Article II, price-based measures taken for balance-of-payments purposes may be applied by a Member in excess of the duties inscribed in the Schedule of that Member. Furthermore, that Member shall indicate the amount by which the price-based measure exceeds the bound duty clearly and separately under the notification procedures of this Understanding.
- Members shall seek to avoid the imposition of new quantitative restrictions for balance-ofpayments purposes unless, because of a critical balance-of-payments istuation, price-based measures
 cannot arrest a sharp deterioration in the external payments position. In those cases in which a Member
 applies quantitative restrictions, it shall provide justification as to the reasons why price-based measures
 are not an adequate instrument to deal with the balance-of-payments situation. A Member maintaining
 quantitative restrictions shall indicate in successive consultations the progress made in significantly
 reducing the incidence and restrictive effect of such measures. It is understood that not more than

関しては、同一の産品について二種類以上のものをとることはできないことを了解する。上でいかなる進展があったかを示す。加盟国は、国際収支上の目的のためにとられる輸入制限的な措置にその後の累次の協議において、数量制限が対象とする範囲及び数量制限の制限的効果を著しく減少させるその後の累次の協議において、数量制限が対象とする範囲及び数量制限の制限的効果を著しく減少させる

4 加盟国は、国際収支上の目的のためにとられる輸入制限的な措置を輸入の全般的な水準を管理するためにのみとることができること及び当該措置が国際収支の状況に対処するために必要な限度を超えてはならないことを確認する。加盟国は、付随する保護主義的な効果を最小限にするため、透明性を確保するように制限を運用する。輸入加盟国の当局は、制限の対象とする産品を決定するに当たって用いる基準を正当とする十分な根拠を示す。加盟国は、第十二条3及び第十八条11に定めるところにより、特定の重要な産品の場合には、一律に課される課徴金その他国際収支の状況を刊に定めるところにより、特定の重要な産品の場合には、一律に課される課徴金その他国際収支上の目的のためにとられる措置の適用を除外し又は制限することができる。「重要な産品」とは、基本的な消費に必要な産品又は加盟国の国際収支の状況を改制限することができる。「重要な産品」とは、基本的な消費に必要な産品又は加盟国の国際収支の状況を改制限することができる。「重要な産品」とは、基本的な消費に必要な産品又は加盟国の国際収支の状況を改善書する努力に資する産品(例えば、生産のために必要な資本財又は投入物)をいうものと了解する。加盟国は、数量制限を運用する底当たのできない場合に限り裁量的な輸入所可制度を超えてはならいる基準についてのとし、同制度を段階的に廃止する。輸入可能な数量又は価額を決定するに当たって用いる基準についてのとし、同制度を段階のに廃止する。輸入可能な数量又は価額を決定するに当たって用いる基準については、正対とは、国制度を関するに当たって用いる基準については、正対とないできない場合に関するといるといる。

国際収支上の目的のための制限に関する協議のための手続

- 5 国際収支上の目的のための制限に関する委員会(この了解において「通常の協議手続」といら。)に従う。 う。)に従う。
- 6 新たな制限を課し又は既存の制限の実質的な強化により当該制限の全般的な水準を引き上げる加盟国は、これらの措置をとった時から四箇月以内に委員会との協議を開始する。当該措置をとった加盟国は、活動できる事項には、特に、国際収支上の目的のための新たな種類の制限的な措置の導入、制審査することができる事項には、特に、国際収支上の目的のための新たな種類の制限的な措置をとった加盟国は、協議が第十二条4回又は第十八条12回の規定に従って行われるよう要請することができる。要請が行われない場合には、委員会の議長は、そのような協議を行うよう当該制限の全般的な水準を引き上げる加盟国は、制度の水準の引上げ又は制限の対象とする産品の範囲の拡大を含むものとする。

one type of restrictive import measure taken for balance-of-payments purposes may be applied on the same product.

4. Members confirm that restrictive import measures taken for balance-of-payments purposes may only be applied to control the general level of imports and may not sexceed what is necessary to address the balance-of-payments situation. In order to minimize any incidental protective effects, a Member shall administer restrictions in a transparent manner. The authorities of the importing Member shall provide adequate justification as to the criteria used to determine which products are subject to restriction. As provided in paragraph 3 of Article XII and paragraph 10 of Article XVIII, Members may, in the case of certain essential products, exclude or limit the application of surcharges applied across the board or other measures applied for balance-of-payments purposes. The term "essential products" shall be understood to mean products which meet basic consumption needs or which contribute to the Member's effort to improve its balance-of-payments situation, such as capital goods or imputs needed for production. In the administration of quantitative restrictions, a Member shall use discretionary licensing only when unavoidable and shall phase it out progressively. Appropriate justification shall be provided as to the criteria used to determine allowable import quantities or values.

Procedures for Balance-of-Payments Consultations

- 5. The Committee on Balance-of-Payments Restrictions (referred to in this Understanding as the Committee") shall carry out consultations in order to review all restrictive import measures taken for balance-of-payments purposes. The membership of the Committee is open to all Members indicating their wish to serve on it. The Committee shall follow the procedures for consultations on balance-of-payments restrictions approved on 28 April 1970 (BISD 18S/48-53, referred to in this Understanding as "full consultation procedures"), subject to the provisions set out below.
- 6. A Member applying new restrictions or raising the general level of its existing restrictions by a substantial intensification of the measures shall enter into consultations with the Committee within four months of the adoption of such measures. The Member adopting such measures may request that a consultation be held under paragraph 4(a) of Article XIII or paragraph 12(a) of Article XVIII as appropriate. If no such request has been made, the Chairman of the Committee shall invite the Member to hold such a consultation. Factors that may be examined in the consultation would include, inter alia, the introduction of new types of restrictive measures for balance-of-payments purposes, or an increase in the level or product coverage of restrictions.

- 7 国際収支上の目的のために課されるすべての制限は、第十二条4份又は第十八条12份の規定に従い委員で、国際収支上の目的のために課されるすべての制限は、第十二条4份又は第十八条12份の規定に従い委員のに従う。
- 8 後発開発途上加盟国又は従前の協議において委員会に提出した予定に従って自由化のための努力を継続8 後発開発途上加盟国以は従前の協議において委員会に提出した予定に従って自由化のための努力を継続8 後発開発途上加盟国は、千九百七十二年十二月十九日に承認された簡易な手続(ガット基本文書選集している開発途上加盟国は、千九百七十二年十二月十九日に承認された簡易な手続(ガット基本文書選集いるべきであるかないかについての決定は、千九百七十九年の宣言の8に定める事項に基づいて行われるいるべきであるかないかについての決定は、千九百七十九年の宣言の8に定める事項に基づいて行われるいるべきであるかないかについての決定は、千九百七十九年の宣言の8に定める事項に基づいて行われるいるべきであるかないかについての決定は、千九百七十九年の宣言の8に定める事項に基づいて行われるものとする。後発開発途上加盟国又は従前の協議において委員会に提出した予定に従って自由化のための努力を継続

通報及び文書

- 9 加盟国は、一般理事会に対し、国際収支上の目的のためにとられる輸入制限的な措置の導入又はその措置の適用に当たって加えた変更及び1の規定に従って公表された措置の撤廃の時期についての予定の変更を通報する。重要な変更については、その公表の前に又はその公表の後三十日以内に一般理事会に通報する。各加盟国は、法令、政策に関する文書又は公告のすべての変更を含む包括的な通報を、毎年、加盟国でよる。各加盟国は、一般理事会に対して行う。通報には、可能な限り、措置の種類、措置の連用に当たって用いる基準、対象産品及び影響を受ける貿易の流れに関する関税品目ごとの十分な情報を含める。
- 10 委員会は、いずれかの加盟国の要請に基づき、通報を検討することができる。その検討の対象は、通報によって提起される特定の問題の明確化又は第十二条4回若しくは第十八条12回に規定する協議の必要性によって提起される特定の問題の明確化又は第十二条4回若しくは第十八条12回に規定する協議の必要性であると信ずるに足りる理由を有する場合には、委員会の注意を喚起することができる。委員会の議長は、当該輸入制限的な措置に関する情報の提供を要請し、当該情報をすべての加盟国が入手することができるようにする。委員会の構成国は、協議において適当な明確化を求める権利を害されることなく、委員会とようにする。その検討の対象は、通報を検討することができる。
- 11 委員会と協議を行う加盟国は、次の情報その他適当と認める情報を記載した協議のための基本文書を作

- 7. All restrictions applied for balance-of-payments purposes shall be subject to periodic review in the Committee under paragraph 4(b) of Article XIII or under paragraph 12(b) of Article XVIII, subject to the possibility of altering the periodicity of consultations in agreement with the consulting Member or pursuant to any specific review procedure that may be recommended by the General Council.
- 8. Consultations may be held under the simplified procedures approved on 19 December 1972. (BISD 20S/47-49, referred to in this Understanding as "simplified consultation procedures") in the case of least-developed country Members or in the case of developing country Members which are pursuing liberalization efforts in conformity with the schedule presented to the Committee in previous onsultations. Simplified consultation procedures may also be used when the Trade Policy Review of a developing country Member is scheduled for the same calendar year as the date fixed for the consultations. In such cases the decision as to whether full consultation procedures should be used will be made on the basis of the factors enumerated in paragraph 8 of the 1979 Declaration. Except in the case of least-developed country Members, no more than two successive consultations may be held under simplified consultation procedures.

Notification and Documentation

- 9. A Member shall notify to the General Council the introduction of or any changes in the application of restrictive import measures taken for balance-of-payments purposes, as well as any modifications in time-schedules for the removal of such measures as announced under paragraph 1. Significant changes shall be notified to the General Council prior to or not later than 30 days after their announcement. On a yearly basis, each Member shall make available to the Secretariat a consolidated notification, including all changes in laws, regulations, policy statements or public notices, for examination by Members. Notifications shall include full information, as far as possible, at the tariff-line level, on the type of measures applied, the criteria used for their administration, product coverage and trade flows affected.
- 10. At the request of any Member, notifications may be reviewed by the Committee. Such reviews would be limited to the clarification of specific issues raised by a notification or examination of whether a consultation under paragraph 4(a) of Article XII or paragraph 12(a) of Article XVIII is required. Members which have reasons to believe that a restrictive import measure applied by another Member was taken for balance-of-payments purposes may bring the matter to the attention of the Committee. The Chairman of the Committee shall request information on the measure and make it available to all Members. Without prejudice to the right of any member of the Committee to seek appropriate clarifications in the course of consultations, questions may be submitted in advance for consideration by the consulting Member.
- 11. The consulting Member shall prepare a Basic Document for the consultations which, in addition

重要な情報を記載した文書を提出する。成する。簡易な協議手続に従う場合には、協議を行う加盟国は、基本文書に記載されるべき事項に関する成する。簡易な協議手続に従う場合には、協議を行う加盟国は、基本文書に記載されるべき事項に関する

- stercio) めにとられる国内政策上の措置及び国際収支の状況に関係する国内的及び対外的な要因についての考察の、国際収支の状況及び見通しに関する概要(健全かつ永続的な基礎の上に国際収支の均衡を回復するた
- 果を減ずるためにとられる措置に関する十分な記述 国際収支上の目的のために課される制限、当該制限の法的根拠及び当該制限に付随する保護主義的効
- (c) 前回の協議の後、委員会の結論を踏まえて輸入制限を緩和するためにとられた措置
- (d) 残存する制限の撤廃及び段階的な緩和に関する計画
- 12 事務局は、委員会における協議を促進するため、事実に即して背景を説明する文書(協議の計画中の12 事務局は、委員会における協議を促進するため、事実に即して背景を説明する文書(協議を行う加盟国の国際収支の状況に関連する対外的な貿易の環境及び国際背景及び分析に関する資料(協議を行う加盟国の国際収支の状況に関連する対外的な貿易の環境及び国際収支の状況に関連する対外的な貿易の環境及び国際収支の状況に関連する文書(協議の計画中の12 事務局は、委員会における協議を促進するため、事実に即して背景を説明する文書(協議の計画中の12 事務局は、委員会における協議を促進するため、事実に即して背景を説明する文書(協議の計画中の13 事務局は、委員会における協議を促進するため、事実に即して背景を説明する文書(協議の計画中の13 事務局は、委員会における協議を促進するため、事実に即して背景を説明する文書(協議の計画中の13 事業に即して背景を説明する文書(協議の計画中の13 事業に対して背景を説明する文書(協議の計画中の13 事業に対していません。

国際収支上の目的のための制限に関する協議の結論

は、一般理事会に対し協議に関して報告する。通常の協議手続が用いられた場合には、報告には、 を員会は、一般理事会に対し協議に関して報告する。簡易な協議手続が用いられた場合には、報告には、委員会において表明された様々な見解を記録すべきである。簡易な協議手続が用いられた場合には、委員会の結論でである。委員会は、その結論に、第十二条及び第十八条Bの規定、千九百七十九年の宣言並びにこの了解の実施を促進することを目的とする勧告案を含めるよう努める。国際収支上の目的のためにとられる制限の実施を促進することを目的とする勧告案を含めるよう努める。国際収支上の目的のためにとられる制限の実施を促進することを目的とする勧告を行う場合には、加盟国の権利及び義務については、当該勧告に照らしてる。一般理事会が行う具体的な勧告を行う場合には、加盟国の権利及び義務については、当該勧告に照らしてる。一般理事会が行う具体的な勧告を行う場合には、加盟国の権利及び義務に、加盟国の指論をは、委員会の結論には、委員会の結論では、委員会の結論では、委員会の結論では、委員会の結論では、委員会の結論では、委員会において表明された様々な見解を記録すべきである。簡易な協議手続が用いられた場合には、報告には、委員会において表明された様々な見解を記録すべきである。簡易な協議手続が用いられた場合には、報告には、委員会のお問題を対象を表して、対象となる。

to any other information considered to be relevant, should include: (a) an overview of the balance-of-payments situation and prospects, including a consideration of the internal and external factors having a bearing on the balance-of-payments situation and the domestic policy measures taken in order to restore equilibrium on a sound and lasting basis; (b) a full description of the restrictions applied for balance-of-payments purposes, their legal basis and steps taken to reduce incidental protective effects; (c) measures taken since the last consultation to liberalize import restrictions, in the light of the conclusions of the Committee; (d) a plan for the elimination and progressive relaxation of remaining restrictions. References may be made, when relevant, to the information provided in other notifications or reports made to the WTO. Under simplified consultation procedures, the consulting Member shall submit a written statement containing essential information on the elements covered by the Basic Document.

12. The Secretariat shall, with a view to facilitating the consultations in the Committee, prepare a factual background paper dealing with the different aspects of the plan for consultations. In the case of developing country Members, the Secretariat document shall include relevant background and analytical material on the incidence of the external trading environment on the balance-of-payments situation and prospects of the consulting Member. The technical assistance services of the Secretariat shall, at the request of a developing country Member, assist in preparing the documentation for the consultations.

Conclusions of Balance-of-Payments Consultations

13. The Committee shall report on its consultations to the General Council. When full consultation procedures have been used, the report should indicate the Committee's conclusions on the different elements of the plan for consultations, as well as the facts and reasons on which they are based. The Committee shall endeavour to include in its conclusions proposals for recommendations aimed at promoting the implementation of Articles XII and XVIII.B, the 1979 Declaration and this Understanding. In those cases in which a time-schedule has been presented for the removal of restrictive measures taken for balance-of-payments purposes, the General Council may recommend that, in adhering to such a time-schedule, a Member shall be deemed to be in compliance with its GATT 1994 obligations. Whenever the General Council has made specific recommendations, the rights and obligations of Members shall be assessed in the light of such recommendations, in the absence of specific proposals for recommendations by the General Council, the Committee's conclusions should record the different views expressed in the Committee. When simplified consultation procedures have been used, the report shall include a summary of the main elements discussed in the Committee and a decision on whether full consultation procedures are required.

千九百九十四年の関税及び貿易に関する一般協定第二十四条の解釈に関する了解

加盟国は、

千九百九十四年のガット第二十四条の規定を考慮し、

に増大し並びに今日世界貿易の相当な部分を占めることを認め、関税同盟及び自由貿易地域が、千九百四十七年のガットが作成されて以来その数及び重要性において大幅

世界貿易の拡大への貢献を認め、世界貿易の拡大への貢献を認め、

が減少することを認め、 貢献が増加し、他方において、貿易の主要な分野が当該撤廃の対象から除外される場合にはそのような貢献 構成関税地域間における関税その他の制限的な通商規則の撤廃がすべての貿易に及ぶ場合にはそのような

認し、 認し、 は拡大に際し他の加盟国の貿易に悪影響を及ぼすことを最大限可能な限り避けるべきであることを再確 成又は拡大に際し他の加盟国の貿易に悪影響を及ぼすことを最大限可能な限り避けるべきであることを再確 との間の貿易に対する障害を引き上げることにあるべきでないこと、及びこれらの協定の締約国が協定の作 との間の貿易に対する障害を引き上げることにあるべきでないこと、及びこれらの協定の締約国が協定の作 との間の貿易に対する障害を引き上げることにあるべきでないこと、及びこれらの関税地域と他の加盟国

ついての物品の貿易に関する理事会の役割の実効性を補強する必要性を確信し、の規定に従って通報された協定を検討し及び第二十四条に規定するすべての協定の透明性を改善することにの規定に従って通報された協定を検討し及び第二十四条に規定するすべての協定の透明性を改善することにより、第二十四条

第二十四条12の規定に基づく加盟国の義務に関する共通の理解の必要性を認めて、

ここに、次のとおり協定する。

るための中間協定は、特に、同条の5から8までの規定を満足するものでなければならない。 第二十四条の規定に適合する関税同盟、自由貿易地域及び関税同盟を組織し又は自由貿易地域を設定す

第二十四条5

の全般的な評価に基づく。この評価については、当該関税同盟によって提供される過去の代表的な期間の十四条5⑷の規定に従って行う判断は、関税及び課徴金に関しては、加重平均関税率及び徴収された関税2 関税同盟の組織前及び組織後に適用されている関税及びその他の通商規則の全般的な水準に関する第二

UNDERSTANDING ON THE INTERPRETATION OF ARTICLE XXIV OF THE GENERAL AGREEMENT ON TARIFFS AND TRADE 1994

Members

Having regard to the provisions of Article XXIV of GATT 1994;

Recognizing that customs unions and free trade areas have greatly increased in number and importance since the establishment of GATT 1947 and today cover a significant proportion of world trade;

Recognizing the contribution to the expansion of world trade that may be made by close integration between the economies of the parties to such agreements;

Recognizing also that such contribution is increased if the elimination between the constituent territories of duties and other restrictive regulations of commerce extends to all trade, and diminished if any major sector of trade is excluded;

Reaffirming that the purpose of such agreements should be to facilitate trade between the constituent territories and not to raise barriers to the trade of other Members with such territories; and that in their formation or enlargement the parties to them should to the greatest possible extent avoid creating adverse effects on the trade of other Members;

Convinced also of the need to reinforce the effectiveness of the role of the Council for Trade in Goods in reviewing agreements notified under Article XXIV, by clarifying the criteria and procedures for the assessment of new or enlarged agreements, and improving the transparency of all Article XXIV agreements;

Recognizing the need for a common understanding of the obligations of Members under paragraph 12 of Article XXIV;

Hereby agree as follows:

 Customs unions, free-trade areas, and interim agreements leading to the formation of a customs union or free-trade area, to be consistent with Article XXIV, must satisfy, inter alia, the provisions of paragraphs 5, 6, 7 and 8 of that Article.

Article XXIV:5

2. The evaluation under paragraph 5(a) of Article XXIV of the general incidence of the duties and other regulations of commerce applicable before and after the formation of a customs union shall in respect of duties and charges be based upon an overall assessment of weighted average tariff rates and of customs duties collected. This assessment shall be based on import statistics for a previous representative period to be supplied by the customs union, on a tariff-line basis and in values and quantities, broken down by WTO country of origin. The Secretariat shall compute the weighted average

輸入統計(関税品目分類に従い、かつ、世界貿易機関の原産地規則に基づき国別に区分された価額及び数輸入統計(関税品目分類に従い、かつ、世界貿易機関の原産地規則に基づいて行う。事務局は、ウルグァイ・ラウンドの多角的貿易交渉において関税に関する提案の評価に使われた方法に従って、加重平均関税率及び懲収された関税を算定する。その算定のために考慮される関税及び課徴金は、実行税率とする。数量化及び総額の算定が困難であるその他の通商規則に考慮される関税及び課徴金は、実行税率とする。数量化及び総額の算定が困難であるその他の通商規則に考慮されることがあることを認識する。

要とすることについて物品の貿易に関する理事会に十分な説明を行う。間協定の締約国である加盟国が十年では十分でないと認める場合には、当該加盟国は、一層長い期間を必3 第二十四条5(にに規定する「妥当な期間」は、例外的な場合を除くほか、十年を超えるべきでない。中

第二十四条6

- 像して関税譲許の修正又は撤回が行われる前に開始されなければならないことを再確認する。
 像にて関税譲許の修正又は撤回が行われる前に開始されなければならないことを再確認する。
 の点に関し、加盟国は、第二十八条に定められ、かつ、千九百八十年十一月十日に採択された「第二十八条の規定に基づく交渉のための手続」(ガット基本文書選集(BISD)追録十日に採択された「第二十八条の規定に基づく交渉のための手続」(ガット基本文書選集(BISD)追録十日に採択された「第二十八条の規定に基づく交渉のための手続」(ガット基本文書選集(BISD)追録を組織する加盟国が譲許税率を引き上げることを提案する場合に従う
- 5 第二十四条6に規定する交渉は、相互に満足すべき補償的調整を図るため、誠実に行われる。これらの交渉において、関税同盟を組織するに際し同一の関税品目について当該同盟を構成する他の関税品目の関税の引下げの形をとることができる。を提供する。そのおうな努力にもかかわらず、千九百九十四年のガット第いて交渉する権利を有する加盟国によって考慮されるものとする。補償的調整が受入れ可能なものでないいて交渉する権利を有する加盟国によって考慮されるものとする。補償的調整が受入れ可能なものでないいて交渉する権利を有する加盟国によって考慮されるものとする。補償的調整が受入れ可能なものでないいて交渉する権利を有する加盟国によって考慮されるものとする。補償的調整が受入れ可能なものでないいて交渉の開始から妥当な期間内に合意を達成することができない場合には、当該同盟は、譲許を修おいて、交渉の開始から妥当な期間内に合意を達成することができるい場合には、当該同盟は、議許を修むいて、交渉の開始から妥当な期間内に合意を達成することができない場合には、当該同盟は、議許を修むして、交渉の開始から妥当な期間内に合意を達成することができない場合には、当該同盟は、議許を修むして、対域回することができる。この場合において、影響を受ける加盟国は、同条の規定に従って実質的正等価値の譲許を撤回することができる。

rariff rates and customs duties collected in accordance with the methodology used in the assessment of tariff offers in the Uruguay Round of Multilateral Trade Negotiations. For this purpose, the duties and charges to be taken into consideration shall be the applied rates of duty. It is recognized that for the purpose of the overall assessment of the incidence of other regulations of commerce for which quantification and aggregation are difficult, the examination of individual measures, regulations, products covered and trade flows affected may be required.

3. The "reasonable length of time" referred to in paragraph 5(c) of Article XXIV should exceed 10 years only in exceptional cases. In cases where Members parties to an interim agreement believe that 10 years would be insufficient they shall provide a full explanation to the Council for Trade in Goods of the need for a longer period.

Article XXIV:6

- 4. Paragraph 6 of Article XXIV establishes the procedure to be followed when a Member forming a customs union proposes to increase a bound rate of dury. In this regard Members reaffirm that the procedure set forth in Article XXVIII, as elaborated in the guidelines adopted on 10 November 1980 (BISD 27S/26-28) and in the Understanding on the Interpretation of Article XXVIII of GATT 1994, must be commenced before tariff concessions are modified or withdrawn upon the formation of a customs union or an interim agreement leading to the formation of a customs union.
- 5. These negotiations will be entered into in good faith with a view to achieving mutually satisfactory compensatory adjustment. In such negotiations, as required by paragraph 6 of Article XXIV, due account shall be taken of reductions of duties on the same tariff line made by other constituents of the customs union upon its formation. Should such reductions not be sufficient to provide the necessary compensatory adjustment, the customs union would offer compensation, which may take the form of reductions of duties on other tariff lines. Such an offer shall be taken into consideration by the Members having negotiating rights in the binding being modified or withdrawn. Should the compensatory adjustment remain unacceptable, negotiations should be continued. Where, despite such efforts, agreement in negotiations on compensatory adjustment under Article XXVIII as elaborated by the Understanding on the Interpretation of Article XXVIII of GATT 1994 cannot be reached within a reasonable period from the initiation of negotiations, the customs union shall, nevertheless, be free to modify or withdraw the concessions; affected Members shall then be free to withdraw substantially equivalent concessions in accordance with Article XXVIII.

う義務を課するものではない。 る関税の引下げにより利益を受ける加盟国に対し、当該同盟を構成する関税地域に対して補償的調整を行る関税の引下げにより利益を受ける加盟国に対し、当該同盟を構成する関税地域に対して補償的調整を行

関税同盟及び自由貿易地域に関する検討

- に関する理事会に提出する。同理事会は、加盟国に対し、適当と認める勧告を行うことができる。及び1の規定に照らして作業部会が検討する。作業部会は、その検討の結果についての報告を物品の貿易7.第二十四条7個の規定に従って行われるすべての通報については、千九百九十四年のガットの関連規定
- ことができる。作業部会は、必要な場合には、当該協定に関し追加的な検討を行うことができる。での時間的枠組みの案及びその組織又はその設定を完了するために必要な措置について適当な勧告を行う8 作業部会は、中間協定に関し、自己の報告において、関税同盟の組織又は自由貿易地域の設定に至るま
- 10 第二十四条7億の規定に従って通報される中間協定が同条5億の規定に反して計画及び日程を含まない程の実質的な変更を通報するものとし、理事会は、要請がある場合には、当該変更を検討する。

中間協定の締約国である加盟国は、物品の貿易に関する理事会に対し、当該協定に含まれる計画及び日

10 第二十四条7(3)の規定に従って通報される中間協定が同条5(c)の規定に反して計画及び日程を含まないのあまった、関税同盟及び自由貿易地域を構成する関税地域は、関係取極の実施に関し、定期的に物品のをの勧告に従って当該協定を修正する用意がないときは、状況に応じ、当該協定を維持し又は当該協定の参加整年に係る千九百四十七年のガットの締約国団の千九百四十七年のガットの理事会への指示(ガット基本文書選集(BISD)追録第十八巻三十八ページ)において同締約国団が定めて会への指示(ガット基本文書選集(BISD)追録第十八巻三十八ページ)において同締約国団が定めて会への指示(ガット基本文書選集(BISD)追録第十八巻三十八ページ)において同締約国団が定めているように、関税同盟及び日程を含まないり、第二十四条7(3)の規定に従って通報される中間協定が同条5(c)の規定に反して計画及び日程を含まない

貿易に関する理事会に報告する。当該取極に関する重要な変更及び進展については、これらが生じたとき

紛争解決

に報告すべきである。

協定に関する第二十四条の規定の適用から生ずる問題について、適用することができる。 条の規定は、関税同盟、自由貿易地域又は関税同盟を組織し若しくは自由貿易地域を設定するための中間2 紛争解決了解によって詳細に定められて適用される千九百九十四年のガットの第二十二条及び第二十三

第二十四条12

13

各加盟国は、千九百九十四年のガットに基づき、千九百九十四年のガットのすべての規定を遵守する完

6. GATT 1994 imposes no obligation on Members benefiting from a reduction of duties consequent upon the formation of a customs union, or an interim agreement leading to the formation of a customs union, to provide compensatory adjustment to its constituents.

Review of Customs Unions and Free-Trade Areas

- 7. All notifications made under paragraph 7(a) of Article XXIV shall be examined by a working party in the light of the relevant provisions of GATT 1994 and of paragraph 1 of this Understanding party in the light of the report to the Council for Trade in Goods on its findings in this regard. The working party shall submit a report to the Council for Trade in Goods on its findings in this regard. The Council for Trade in Goods may make such recommendations to Members as it deems appropriate.
- 8. In regard to interim agreements, the working party may in its report make appropriate recommendations on the proposed time-frame and on measures required to complete the formation of the customs union or free-trade area. It may if necessary provide for further review of the agreement.
- Members parties to an interim agreement shall notify substantial changes in the plan and schedule included in that agreement to the Council for Trade in Goods and, if so requested, the Council shall examine the changes.
- 10. Should an interim agreement notified under paragraph 7(a) of Article XXIV not include a plan and schedule, contrary to paragraph 5(c) of Article XXIV, the working party shall in its report recommend such a plan and schedule. The parties shall not maintain or put into force, as the case may be, such agreement if they are not prepared to modify it in accordance with these recommendations. Provision shall be made for subsequent review of the implementation of the recommendations.
- 11. Customs unions and constituents of free-trade areas shall report periodically to the Council for Trade in Goods, as envisaged by the CONTRACTING PARTIES to GATT 1947 in their instruction to the GATT 1947 Council concerning reports on regional agreements (BISD 185/38), on the operation of the relevant agreement. Any significant changes and/or developments in the agreements should be reported as they occur.

Dispute Settlemen

12. The provisions of Articles XXII and XXIII of GATT 1994 as elaborated and applied by the Dispute Settlement Understanding may be invoked with respect to any matters arising from the application of those provisions of Article XXIV relating to customs unions, free-trade areas or interim agreements leading to the formation of a customs union or free-trade area.

Article XXIV:12

13. Each Member is fully responsible under GATT 1994 for the observance of all provisions of

めに利用することができる妥当な措置をとる。全な責任を有しており、また、自国の領域内の地域及び地方の政府及び機関によるその遵守を確保するた

は、代債及び譲許その他の義務の停止に関する規定を適用する。 をには、代債及び譲許その他の義務の停止に関する規定を適用する。とができなかった場別をは、加盟国の領域内の地域又は地方の政府又は機関によりとられる措置であって千九百九十四年のガットの規定が遵守されていない旨の裁定を行う場合には、責任を有する加盟国は、その遵守を確保するために利用することができる妥当な措置をとる。そのような遵守を確保することができなかった場別年の規定は、加盟国の領域内の地域又は地方の政府又は機関によりとられる措置であって千九百九十四年のガットの第二十二条及び第二十三年の規模とは、代債及び譲許その他の義務の停止に関する規定を適用する。

分に与えることを約束する。 ついて他の加盟国がした申立てに好意的な考慮を払い、かつ、その申立てに関する協議のための機会を十ついて他の加盟国がした申立てに好意的な考慮を払い、かつ、その申立てに関する協議のための機会を十5 各加盟国は、自国の領域においてとられた措置で千九百九十四年のガットの実施に影響を及ぼすものに

GATT 1994, and shall take such reasonable measures as may be available to it to ensure such observance by regional and local governments and authorities within its territory.

The provisions of Articles XXII and XXIII of GATT 1994 as elaborated and applied by the

Dispute Settlement Understanding may be invoked in respect of measures affecting its observance taken by regional or local governments or authorities within the territory of a Member. When the Dispute Settlement Body has ruled that a provision of GATT 1994 has not been observed, the responsible Member shall take such reasonable measures as may be available to it to ensure its observance. The provisions relating to compensation and suspension of concessions or other obligations apply in cases where it has not been possible to secure such observance.

15. Each Member undertakes to accord sympathetic consideration to and afford adequate opportunity for consultation regarding any representations made by another Member concerning measures affecting the operation of GATT 1994 taken within the territory of the former.

1

千九百九十四年の関税及び貿易に関する一般協定に基づく義務の免除に関する了解

加盟国は、ここに、次のとおり協定する。

- 合する措置をとるならばその政策上の目的を達成することができない理由を記載する。 加盟国が達成しようとする具体的な政策上の目的及び加盟国が千九百九十四年のガットに基づく義務に適 義務の免除のための要請又は既存の義務の免除の延長のための要請には、加盟国がとろうとする措置、
- 長されない限り、当該免除が終了する日又は当該効力発生の日から二年が経過する日のいずれか早い日に 世界貿易機関協定の効力発生の日に有効な義務の免除は、 1及び同協定第九条に定める手続に従って延
- 3 九百九十四年のガット第二十三条の規定を適用することができる。 無効にされ又は侵害されていると認める場合には、紛争解決了解によって詳細に定められて適用される干 加盟国は、千九百九十四年のガットに基づき自国に与えられた利益が次に掲げるいずれかの結果として
- (a) 義務を免除された加盟国がその免除の条件を遵守しなかったこと。
- (b) 義務の免除の条件に適合する措置をとったこと。

UNDERSTANDING IN RESPECT OF WAIVERS OF OBLIGATIONS UNDER THE GENERAL AGREEMENT ON TARIFFS AND TRADE 1994

Members hereby agree as follows:

- 1. A request for a waiver or for an extension of an existing waiver shall describe the measures which the Member proposes to take, the specific policy objectives which the Member seeks to pursue and the reasons which prevent the Member from achieving its policy objectives by measures consisten with its obligations under GATT 1994.
- 2. Any waiver in effect on the date of entry into force of the WTO Agreement shall terminate, unless extended in accordance with the procedures above and those of Article IX of the WTO Agreement, on the date of its expiry or two years from the date of entry into force of the WTO Agreement, whichever is earlier. Any Member considering that a benefit accruing to it under GATT 1994 is being nullified or
- impaired as a result of: the failure of the Member to whom a waiver was granted to observe the terms or conditions of the waiver, or

B

3 the application of a measure consistent with the terms and conditions of the waiver

may invoke the provisions of Article XXIII of GATT 1994 as elaborated and applied by the Dispute Settlement Understanding.

千九百九十四年の関税及び貿易に関する一般協定第二十八条の解釈に関する了解

加盟国は、ここに、次のとおり協定する。

- 1 譲許に関係する輸出(譲許を修正し又は撤回する加盟国の市場への当該譲許の対象となる産品の輸出入手可能であるかないかを踏まえ、譲許に関係する輸出と問定する直接に交渉したことから生ずる権利の再配分を確保する上で十分に機能したかしなかったかについて決定するため、この1の規定については、世界貿易機関協定の効力発生の日から五年以内に物品の貿易に関する理事会が検討する。この1の規定が十分に機能しなかったと決定される場合には、十分な資料がに関する理事会が検討する。この1の規定が十分に機能しなかったと決定される場合には、十分な資料が入手可能であるかないかを踏まえ、譲許に関係する輸出と問題となっている産品の対象となる産品の輸出入手可能であるかないかを踏まえ、譲許に関係する輸出と問題となっている産品のすべての市場への輸出入手可能であるかないかを踏まえ、譲許に関係する輸出と問題となっている産品のすべての市場への輸出入手可能であるかないかを踏まえ、譲許に関係する輸出と問題となっている産品のすべての市場への輸出入手可能であるかないかを踏まえ、譲許に関係する輸出と問題となっている産品のすべての市場への輸出入手可能であるかないかを踏まえ、譲許に関係する輸出と問題となっている産品のすべての市場への輸出入手可能であるが、対策を関係する輸出と問題となっている産品のすべての市場への輸出入り、
- 3 いずれの加盟国が主要供給国としての利害関係(1又は第二十八条1に規定するもの)又は実質的な利3 いずれの加盟国が主要供給国としての利害関係(1又は第二十八条1に規定するもの)又は実質的な利3 いずれの加盟国が主要供給国としての利害関係(1又は第二十八条1に規定するもの)又は実質的な利3 いずれの加盟国が主要供給国としての利害関係(1又は第二十八条1に規定するもの)又は実質的な利3 いずれの加盟国が主要供給国としての利害関係(1又は第二十八条1に規定するもの)又は実質的な利3 いずれの加盟国が主要供給国としての利害関係(1又は第二十八条1に規定するもの)又は実質的な利3 いずれの加盟国が主要供給国としての利害関係(1又は第二十八条1に規定するもの)又は実質的な利3 いずれの加盟国が主要供給国としての利害関係(1又は第二十八条1に規定するもの)又は実質的な利3 いずれの加盟国が主要供給国としての利害関係(1又は第二十八条1に規定するもの)又は実質的な利3 いずれの加盟国が主要は対象に対していません。
- るものとみなす。主要供給国としての利害関係及び実質的な利害関係についての決定並びに補償の算定に生ずる権利を有する加盟国は、当該産品に関する譲許について直接に交渉したことから生ずる権利を有すされる場合には、当該産品が属している又は以前に属していた関税品目について直接に交渉したことから4 新たな産品(三年間の貿易統計を入手することができない産品)に関する関税譲許が修正され又は撤回

UNDERSTANDING ON THE INTERPRETATION OF ARTICLE XXVIII OF THE GENERAL AGREEMENT ON TARIFFS AND TRADE 1994

Members hereby agree as follows:

- I. For the purposes of modification or withdrawal of a concession, the Member which has the highest ratio of exports affected by the concession (i.e. exports of the product to the market of the Member modifying or withdrawing the concession) to its total exports shall be deemed to have a principal supplying interest if it does not already have an initial negotiating right or a principal supplying interest as provided for in paragraph 1 of Article XXVIII. It is however agreed that this paragraph will be reviewed by the Council for Trade in Goods five years from the date of entry into force of the WTO Agreement with a view to deciding whether this criterion has worked satisfactorily in securing a redistribution of negotiating rights in favour of small and medium-sized exporting Members. If this is not the case, consideration will be given to possible improvements, including, in the light of the availability of adequate data, the adoption of a criterion based on the ratio of exports affected by the concession to exports to all markets of the product in question.
- Where a Member considers that it has a principal supplying interest in terms of paragraph 1, it should communicate its claim in writing, with supporting evidence, to the Member proposing to modify or withdraw a concession, and at the same time inform the Secretariat. Paragraph 4 of the "Procedures for Negotiations under Article XXVIII" adopted on 10 November 1980 (BISD 27S/26-28) shall apply in these cases.
- 3. In the determination of which Members have a principal supplying interest (whether as provided for in paragraph I above or in paragraph I of Article XXVIII) or substantial interest, only trade in the affected product which has taken place on an MFN basis shall be taken into consideration. However, trade in the affected product which has taken place under non-contractual preferences shall also be taken into account if the trade in question has ceased to benefit from such preferential treatment, thus becoming MFN trade, at the time of the negotiation for the modification or withdrawal of the concession, or will do so by the conclusion of that negotiation.
- When a tariff concession is modified or withdrawn on a new product (i.e. a product for which the years' trade statistics are not available) the Member possessing initial negotiating rights on the traiff line where the product is or was formerly classified shall be deemed to have an initial negotiating right in the concession in question. The determination of principal supplying and substantial interests and the calculation of compensation shall take into account, *inter alia*, production capacity and investment in the affected product in the exporting Member and estimates of export growth, as well as forecasts of demand for the product in the importing Member and estimates of this paragraph, "new product" is understood to include a tariff item created by means of a breakout from an existing tariff line.

- る「第二十八条の規定に基づく交渉のための手続」の4を適用する。 この場合において、2に規定す証拠と共に書面により通報し、かつ、同時に事務局に通報すべきである。この場合において、2に規定する場合には、譲許を修正し又は撤回することを提案している加盟国に対し、自国の主張をこれを立証する5 加盟国は、自国が4の規定に基づく主要供給国としての利害関係又は実質的な利害関係を有すると認め
- 6 関税割当てが適用数量に制限のない関税譲許に代わる場合には、提供される補償の額については、譲許の信息が当該関税割当ての水準を超える額を用いるべきである。将来の貿易の見通しか当該関税割当ての水準を超える額を用いるべきである。将来の貿易の見通しの算定は、次のいずれか大きい方に基づくべきであると了解する。ただし、いかなる場合にも、加盟国しの算定は、次のいずれか大きい方に基づくべきであると了解する。ただし、いかなる場合にも、加盟国しの第定は、次のいずれか大きい方に基づくべきであると了解する。 ただし、いかなる場合にも、加盟国の権については、譲許の補償についての責任は、譲許の完全な撤回によって課される責任を超えてはならない。
- パーセントのいずれか高い方を乗じたものを加えたもの 直近の代表的な三年間の平均年間貿易量に、当該貿易量に同一の時期の輸入の平均年間成長率又は十
- (1) 直近の年における貿易量にその十パーセントを加えたもの
- ての限りでない。ただし、他の方法による補償が関係加盟国によって合意される場いで直接に交渉する権利を与えられる。ただし、他の方法による補償が関係加盟国によって合意される場いで直接に交渉する権利を与えられる。ただし、他の方法による補償が関係加盟国によって合意される場合であるかを問わない。)には、補償的議許が行われた品目につ二十八条1のいずれの規定が適用される議許について主要供給国としての利害関係を有する場合(1又は第7加盟国は、修正され又は撤回される議許について主要供給国としての利害関係を有する場合(1又は第7加盟国は、修正されている。

- 5. Where a Member considers that it has a principal supplying or a substantial interest in terms of paragraph 4, it should communicate its claim in writing, with supporting evidence, to the Member proposting to modify or withdraw a concession, and at the same time inform the Secretariat. Paragraph 4 of the above-mentioned "Procedures for Negotiations under Article XXVIII" shall apply in these cases.
- 6. When an unlimited tariff concession is replaced by a tariff rate quota, the amount of compensation provided should exceed the amount of the trade actually affected by the modification of the concession. The basis for the calculation of compensation should be the amount by which future trade prospects exceed the level of the quota. It is understood that the calculation of future trade prospects should be based on the greater of:
- the average annual trade in the most recent representative three-year period, increased by the average annual growth rate of imports in that same period, or by 10 per cent, whichever is the greater; or
- (b) trade in the most recent year increased by 10 per cent.

In no case shall a Member's liability for compensation exceed that which would be entailed by complete withdrawal of the concession.

7. Any Member having a principal supplying interest, whether as provided for in paragraph 1 of Article XXVIII, in a concession which is modified or withdrawn shall be accorded an initial negotiating right in the compensatory concessions, unless another form of compensation is agreed by the Members concerned.

千九百九十四年の関税及び貿易に関する一般協定のマラケシュ議定書

加盟国は、

ラ協す貿関十千 ケ定る易税四九 シの一に及年百 ュマ般関びの九

> ここに、次のとおり協定する。 ウルグァイ・ラウンドに関する閣僚宣言に従って千九百四十七年のガットの枠組みにおいて交渉を行い、

- 関する閣僚決定に基づいて提出される譲許表は、この議定書に附属するものとみなす。ら、千九百九十四年のガットに附属する当該加盟国の譲許表となる。後発開発途上国に対する優遇措置にら、千九百九十四年のガットに附属する当該加盟国の譲許表は、世界貿易機関協定が当該加盟国について効力を生じた日か
- に影響を及ぼすものではない。 のな検討の対象となる。このことは、世界貿易機関協定附属書一Aの協定に基づく加盟国の権利及び義務的な検討の対象となる。このことは、世界貿易機関協定附属書一Aの協定に基づく加盟国の権利及び義務の主義の
- つでも当該譲許の全部又は一部を停止し又は撤回することができる。ただし、当該譲許の停止又は撤回のとなっていない他のウルグァイ・ラウンドの参加国が主要供給国である産品に関する譲許については、いとなっていない他のウルグァイ・ラウンドの参加国が主要供給国である産品に関する譲許については、いきなって後は、自国の譲許表に定める譲許であって、その譲許表が千九百九十四年のガットの譲許表のずれの加盟国も、この議定書に附属する自国の譲許表が1の規定により千九百九十四年のガットの譲

MARRAKESH PROTOCOL TO THE GENERAL AGREEMENT ON TARIFFS AND TRADE 1994

Members

Having carried out negotiations within the framework of GATT 1947, pursuant to the Ministerial Declaration on the Uruguay Round,

Hereby agree as follows:

- The schedule annexed to this Protocol relating to a Member shall become a Schedule to GATT 1994 relating to that Member on the day on which the WTO Agreement enters into force for that Member, any schedule submitted in accordance with the Ministerial Decision on measures in favour of least-developed countries shall be deemed to be annexed to this Protocol.
- 2. The tariff reductions agreed upon by each Member shall be implemented in five equal rate reductions, except as may be otherwise specified in a Member's Schedule. The first such reduction shall be made effective on the date of entry into force of the WTO Agreement, each successive reduction shall be made effective on later than the date of each of the following years, and the final rate shall become effective no later than the date four years after the date of entry into force of the WTO Agreement, except as may be otherwise specified in that Member's Schedule. Unless otherwise specified in its Schedule, a Member that accepts the WTO Agreement after its entry into force shall, on the date that Agreement enters into force for it, make effective all rate reductions that have already taken place together with the reductions which it would under the preceding sentence have been obligated to make effective on 1 January of the year following, and shall make effective all remaining rate reductions on the schedule specified in the previous sentence. The reduced rate should in each stage be rounded off to the first decimal. For agricultural products, as defined in Article 2 of the Agreement on Agriculture, the staging of reductions shall be implemented as specified in the relevant parts of the schedules.
- 3. The implementation of the concessions and commitments contained in the schedules annexed to this Protocol shall, upon request, be subject to multilateral examination by the Members. This would be without prejudice to the rights and obligations of Members under Agreements in Annex IA of the WTO Agreement.
- 4. After the schedule annexed to this Protocol relating to a Member has become a Schedule to GATT 1994 pursuant to the provisions of paragraph 1, such Member shall be free at any time to withhold or to withdraw in whole or in part the concession in such Schedule with respect to any product for which the principal supplier is any other Uruguay Round participant the schedule of which has not yet become a Schedule to GATT 1994. Such action can, however, only be taken after written notice of any such withholding or withdrawal of a concession has been given to the Council for Trade in Goods and after consultations have been held, upon request, with any Member, the relevant schedule relating

許表が千九百九十四年のガットの譲許表となった日から実施する。の4の規定により停止され又は撤回された場合にも、当該譲許については、主要供給国である加盟国の譲り、かつ、当該産品について実質的な利害関係を有する加盟国と協議を行わなければならない。譲許がこり、かつ、当該産品について実質的な利害関係を有する加盟国と協議を行わなければならない。譲許がこり、かつ、当該産品について実質的な利害関係を有する加盟国と協議を行わなければならない。譲許表となってお行うものとし、また、要請があったときは、その停止又は撤回につき書面による通報を物品の貿易に関する理事会に措置をとるに先立ち、加盟国は、その停止又は撤回につき書面による通報を物品の貿易に関する理事会に

- の日付とする。ただし、農業に関する協定第四条2の規定の適用は妨げられない。ト第二条1の佃及び心において言及されている千九百九十四年のガットの日付については、この議定書5(4) この議定書に附属する譲許表に定める譲許の対象となっている各産品に関し、千九百九十四年のガッ
- 6 譲許表第三部に定める非関税措置に関する譲許の修正又は撤回を行う場合には、千九百九十四年のガット第二十八条の規定及び千九百八十年十一月十日に採択された「第二十八条の規定に基づく交渉のためのト第二十八条の規定及び千九百八十年十一月十日に採択された「第二十八条の規定に基づく交渉のための上第二十八条の規定を及び千九百八十年十一月十日に採択された「第二十八条の規定に基づく交渉のための上第二十八条の規定を及ぼすものではない。この議定書に附属する譲許表に定められていた当該産品についての待遇が、世界貿易機関協定の効力発生前に千九百四十七年のガットの譲許表に定められていた当該産品についての待遇が、世界貿易機関協定の効力発生前に千九百四十七年のガットの議定書に附属させた加盟国は、千九百四十七年又は千九百九十四年のガット第二十八条の規定は、エジプト、ベ定の定めるところにより必要とされる適切な措置をとったものとみなす。この7の規定は、エジプト、ベ定の定めるところにより必要とされる適切な措置をとったものとみなす。この7の規定は、エジプト、ベルー、南アフリカ及びウルグァイのみに適用する。
- 正文とする。 との議定書に附属する譲許表は、各譲許表に定めるところにより、英語、フランス語又はスペイン語を
- 9 この議定書の日付は、千九百九十四年四月十五日とする。

to which has become a Schedule to GATT 1994 and which has a substantial interest in the product involved. Any concessions so withheld or withdrawn shall be applied on and after the day on which the schedule of the Member which has the principal supplying interest becomes a Schedule to GATT 1994.

(a) Without prejudice to the provisions of paragraph 2 of Article 4 of the Agreement on Agriculture, for the purpose of the reference in paragraphs 1:(5) and 1(c) of Article II of GATT 1994 to the date of that Agreement, the applicable date in respect of each product which is the subject of a concession provided for in a schedule of concessions annexed to this Protocol shall be the date of this Protocol.

'n

- (b) For the purpose of the reference in paragraph 6(a) of Article II of GATT 1994 to the date of that Agreement, the applicable date in respect of a schedule of concessions annexed to this Protocol shall be the date of this Protocol.
- 6. In cases of modification or withdrawal of concessions relating to non-tariff measures as contained in Part III of the schedules, the provisions of Article XXVIII of GATT 1994 and the "Procedures for Negotiations under Article XXVIII" adopted on 10 November 1980 (BISD 27S/26-28) shall apply. This would be without prejudice to the rights and obligations of Members under GATT 1994.
- 7. In each case in which a schedule annexed to this Protocol results for any product in treatment less favourable than was provided for such product in the Schedules of GATT 1947 prior to the entry into force of the WTO Agreement, the Member of whom the schedule relates shall be deemed to have taken appropriate action as would have been otherwise necessary under the relevant provisions of Article XXVIII of GATT 1947 or 1994. The provisions of this paragraph shall apply only to Egypt, Peru, South Africa and Uruguay.
- 8. The Schedules annexed hereto are authentic in the English, French or Spanish language as specified in each Schedule.
- The date of this Protocol is 15 April 1994

ŏ

(a) 0)

第

部

最恵国関税率表

第

一節

農産品

関税 関税割当て

ウルグァイ・ラウンド

第三十八表 日本国の譲許表

この譲許表は、 英語のみを正文とする。

譲許表は、 第三十八表の日本国の譲許表に関する注釈 次の部分から構成される。 この譲許表に定める譲許及び約束については、

2から7まで

規定及びこの譲許表の関連部分の注釈に従って実施する。

千九百九十四年四月十五日

NOTES TO SCHEDULE XXXVIII - Japan

1. This Schedule is composed of the following parts; the concessions and commitments contained in this Schedule shall be implemented in accordance with paragraphs 2-7 below and Notes to the relevant parts of this Schedule:

(a) Part I Most-Favoured-Nation Tariff (a) Part I Most-Favoured-Nation Taris
Section I Agricultural Products
Section I-A Tarisf's
Section I-B Tarisf Quotas
Section II Other Products
Attachment to Section II of Part I
(b) Part II Preferential Tarisf
(c) Part III Non-Tarisf Concessions
(d) Part IV Agricultural Products Con

2

(e)

第三十八表の日本国の譲許表の附属書

節に定める関税の引下げその他の市場アクセスに関する約束については、

その節に別段の定めがある場合

第一

世界貿易機関協定が千九百九十五年四月一日以前に日本国について効力を生ずる場合には、

を除くほか、千九百九十五年四月一日に開始し二千一年三月三十一日に終了する実施期間を通じて毎年均

等に実施する。

この場合には、関税の譲許については、

千九百九十五年四月一日から実施する。

(d) (c)

第四部 第

農産品についての補助の制限に関する約束

部 部

非関税譲許表

第 第

国内助成

(助成合計総量) に関する約束

第

節 節 飾

輸出補助金の交付の範囲の制限に関する約束

輸出補助金に係る予算上の支出及び数量の削減に関する約束

(b)

第

特恵関税率表

第 第

一部第二

一節の附属書

節

その他の産品

第 第

B 節 A 節

(d) Part III Non-lariii Concessions
(d) Part IV Agricultural Products: Commitments Limiting Subsidization
Section I Domestic Support: Total AMS Commitments
Section II Export Subsidies: Budgetary Outlay and Quantity Reduction Commitments
Section III Commitments Limiting the Scope of Export Subsidies
(e) Attachment to Schedule XXXVIII - Japan

2. Where the WTO Agreement enters into force for Japan on or before 1 April 1995, the tariff reductions and other market access commitments provided for in Section 1 of Part 1 of this Schedule shall be implemented in equal annual instalments over the implementation period beginning on 1 April 1995 and ending on 31 March 2001, unless otherwise specified therein. In such a case, the bindings of tariffs shall become effective from 1 April

(○・五銭は、一銭とする。) 引下げを実施した後の税率に一銭

|始する実施期間を通じて実施す .税の引下げその他の市場アクセスに関する約束については、 同協定が千九百九十五年四月二日以後に日本国について効力を生ずる場合には、 日本国政府が決定する千九百九十五年中 第 部第 節に定め

3 n 実施する。 第 部第一 一節に定める関税の引下げについては、 その節に別段の定めがある場合を除くほか、

(a)

- 同日に、 から4欄に定める譲許税率 世界貿易機関協定の効力発生の日に同協定が日本国について効力を生ずる場合には、 に引き下げる。 したものをそれぞれ千九百九十六年、 1相当する税率の引下げを実施し、 回目の引下げとして3欄に定める基準税率 (以下この注釈において「最終税率」という。) その引下げの後は、 千九百九十七年、 (以下この注釈において 千九百九十八年及び千九百九十九年の 総引下げ幅の五分の四に相当する税率を四等 までの総引下げ幅の五分 「基準税率」 日本国政府は、 という。 月
- 下げ Н 九百九十九年の 世界貿易機関協定の効力発生の後に同協定が日本国について効力を生ずる場合には、 ら最終税率までの総引下げ幅の五分の二に相当する税率の引下げを実施し、 本国政府が決定する千九百九十五年十二月三十一日より遅くない日に一回目の引下げとして基準税 (e)に掲げる第三十八表の日本国の譲許表の附属書の規定に従 幅の五分の三に相当する税率を三等分したものをそれぞれ千九百九十七年、 月一 日に引き下げ 13 世界貿易機関協定が日本国につ その引下げの 千九百九十八年及び千 日本国政府は 後は、 総引

(b)

4 (a)

5

一無税」

となっていない場合には、

当該附属書の規定が優先する

税率に小数点以下一位未満の端数があるときは、

これを四捨五入する

(〇・〇五パーセントは

0

て

ーセントとする。)。

従量税につき2及び3の規定並びに第一

部の第一A節及び第三

(百分の一円をいう。)

未満の端数があるときは、

これを四捨五入す 一節の注釈に従っ (c) (b)

当該附属書の対象となる産品が分類されている関税率表番号に対応する第

撤廃する。

P

を付っ

した関税率表番号には、

当該附属書の③から⑥までのいずれ

従価税につき2及び3の規定並びに第一部の第一A節及び第二節の注釈に従って引下げを実施 て効力を生ずる日に千九百九十四年のガットに基づく譲許として当該附属書の対象となる産品の関税を かに該当する産品を含む 一節の最終税率 次のとお した後 Where the WTO Agreement enters into force for Japan on or after 2 April 1995, the tariff reductions and other market access commitments provided for in Section I of Part I of this Schedule shall be implemented over the implementation period to be determined by the Government of Japan which shall commence in any event in the year 1995.

3. The tariff reductions provided for in Section 11 of Part 1, of this Schedule shall be implemented, unless otherwise specified therein, as follows:

(a) Where the WTO Agreement enters into force for Japan on the date of entry into force of that Agreement, the Government of Japan shall implement the first reduction equal to one fifth of the total reduction from the base rate of duty specified in Column 3 (hereinafter referred to as "the base rate") to the bound rate of duty specified in Column 4 (hereinafter referred to as "the final rate") on that date, and shall subsequently make effective four fifths of the total reduction in four equal instalments on 1 January 1996. 1997, 1998 and 1999.

(b) Where the WTO Agreement enters into force for Japan after its entry into force, the Government of Japan shall implement the first reduction equal to two fifths of the total reduction from the base rate to the final rate on a date to be determined by the Government of Japan, but in any event not later than 31 December 1995, and shall subsequently make effective three fifths of the total reduction in three equal instalments on 1 January 1997, 1998 and 1999.

4.(a) Pursuant to the Attachment to this Schedule referred to in 1(e) above, customs duties on the products covered by the said Attachment shall be eliminated as concessions under GATT 1994, on the date of entry into force of the WTO Agreement for Japan.

(b) The tariff item numbers marked with a letter "P" include the products falling within categories (3).

(d). (5), and (6) of the said Attachment.

(c) Where the bound rate of duty in Section II of Part I corresponding to a tariff item number within which the products covered by the Attachment are classified is not "Free", the provisions of the said attachment shall take precedence.

Where a rate reduction of an ad valorem duty implemented in accordance with the provisions in paragraphs 2 and 3 above and the Notes to Sections I-A and II of Part I of this Schedule gives a rate with a decimal fraction of less than 0.1 per cent, such fraction shall be rounded to one decimal place (in the case of 0.05 per cent, the fraction is rounded to 0.1 percent). Where a rate reduction of a specific duty implemented in accordance with the provisions in paragraphs 2 and 3 above and the Notes to Sections I-A and II of Part I of this Schedule gives a rate with a fraction smaller than I sen (I sen=one hundredth of I yen), such fraction shall be rounded to the nearest sen (in the case of 0.5 sen, the fraction is rounded to 1 sen).

6 交渉のいずれかの参加国がその譲許又は約束の全般的な実施を中断し又は著しく遅延させる場合にも、 させ、停止し又は撤回する場合には、日本国政府は、妥当な措置をとる権利を留保する。当該多角的貿易 ずれかの参加国が日本国の関心品目についての譲許若しくは約束の実施又は税率の段階的な引下げを遅延 本国政府は、その中断又は遅延に対応する措置をとる権利を留保する。 この譲許表における品目の名称及び分類システムは、商品の名称及び分類についての統一システムに関 ウルグァイ・ラウンドに関する閣僚宣言に従って行われたウルグァイ・ラウンドの多角的貿易交渉のい В

目表に基づく。

九十二年一月一日に同条約第十六条の規定に従って改正されたもの)の附属書に掲げる統一システムの品 する国際条約(干九百八十六年六月二十四日に作成された同条約の改正議定書によって改正され、

、干九百

^{6.} Should any other participant in the Uruguay Round of Multilateral Trade Negotiations, which were conducted pursuant to the Ministerial Declaration on the Uruguay Round, defer, suspend or withdraw the implementation or staging of its concessions or commitments on certain products of interest to Japan, the Government of Japan reserves the right to take appropriate action. Further, should there be any significant interruption or delay of the general implementation of concessions or commitments by any other participant in the said Multilateral Trade Negotiations, the Government of Japan also reserves the right to act accordingly.

The product description and coding system of this Schedule are based on the harmonized system nomenclature set out in the Annex to the International Convention on the Harmonized Commodity Description and Coding System as amended by the Protocol of Amendment to the said Convention, dated 24 June 1986, and in accordance with Article 16 of the said Convention on 1 January 1992.